

就労支援連絡会事業計画進捗状況

期間：平成31年4月～令和元年8月

小牧市障がい者計画	目的・ねらい	実施内容	実績、参加人数	参考：第3次障がい者計画	参考：第5期障がい福祉計画計画、第1期障がい児計画
事業所の理解促進 障がい者雇用の推進	障がいのある人の雇用促進に関する広報・啓発活動に取り組み、一般企業等の理解・協力を推進	(8月～9月) 一般企業に障害者雇用支援月間ポスターを就労支援や日中活動系、こども事業所にポスター配布。	・就労支援や日中活動系、こども事業所にポスター100枚配布。就労支援事業所は、1事業所4枚ずつ配布。就労支援事業所から一般企業に配布。	P38 (1)	P55 (1)
ネットワークの構築	①ライフステージの切れ目のない支援 ②こどもに関わる機関、事業所と顔の見える関係づくり。	(7/12) 多職種事例検討会	参加者：36名（内就労連絡会5名） 事例：高等部卒業後の進路	P22、 23 (2)、 (4)、 (5)	P39 ～P4 1(1) ～(4)
就労施設への支援	一般企業や、働きたいと思っている障がいのある人への情報発信。企業向けPR（小牧市商工会議所を通じて）	障がい者が働く事業所ガイドブックの更新・発行		P38 (2)	P43、 P44 (4)① ～④
障がい者雇用の推進	①就労移行支援、就労継続支援A型・B型から一般就労の機会の拡大や職場定着 ②一般企業からの障がい者雇用促進	①市内就労継続支援事業所に一般企業に就職した方のアンケート実施（更新） ②障害者雇用推進セミナー開催の協力		P38 (3)	P43、 P44 (4)① ～④
学校との連携	①市内の卒業生の進路確保、事業所と受け入れできるか検討 ②進路指導担当と情報共有、事業所のPR	就労支援連絡会、日中活動系連絡会と特別支援学校との情報交換会の実施		P42 (6)	P40 (1)⑤
防災への取り組み	災害時に事業所同士が助け合う為の情報共有	災害時に事業所同士が助け合う為のリスト作成		P50 (3)	

☆就労支援連絡会の課題

<p>①就労継続支援A、B型利用者が減ってきている。 ・新卒者が入らない。 ・ひきこもりや高齢者が多い。</p> <p>②利用者の就労以外（生活の困り事）に対して事業所によっては対応できていない。どこまで生活に就労支援事業所が踏込めばよいか。 ⇒ 相談支援事業所との連携強化</p> <p>③就労支援事業所での利用は続かず、生活介護の利用対象でもない狭間の人に行き場が必要。 ⇒ 生活介護事業所やデイサービスひかりなどの活用方法を考え、就労に向けた段階的な支援を行う。</p>
--